

県木協だより

編集発行 宮城県木材協同組合
仙台市青葉区東照宮一丁目 8-8
TEL 022-233-2883
FAX 022-275-4936
E-mail:miyagi_wood@waltz.ocn.ne.jp
URL:http://www.miyagi-wood.jp/

謹賀新年



希望の年にするために

理事長 千葉 基

皆様、新年おめでとございます。

昨年は新型コロナウイルスの影響で様々な支障があり、大変な苦労の年となりました。皆様お一人おひとりも、健康維持、経営改善、人間関係の維持構築など種々の課題に奮闘された一年と拝察いたします。そのお働きに心から敬意を表します。

宮城県木材協同組合も総会が書面決議となりました。その他の事業も取りやめや小人数での対応となり、例年のような活動が出来ませんでした。申し訳なく思っています。

今も過去最大の大きさとなる新型コロナウイルス第三波の中にあります。十全な治療薬やワクチンが速やかに開発され、新型コロナウイルスの問題の一日も早い収束を祈っています。このような中、今年を希望の年にするための課題を以下に記します。

木材と電子技術の融合

この難しい時代に対応するため事業の大きな改善改革が必要です。その事に役立つ一冊の本があります。プレジデント経営企画研究会編の「Why Digital Matters? なぜデジタルなのか」(プレジデント社)です。

本の最初にオランダサッカーの名選手で名監督のヨハン・クライフの名言があります。「選手ではなく、ボールを走らせる。ボールは疲れない。」です。そしてこの名言から、これからの経営の要諦として「ヒトではなく、電子を走らせる。電子は疲れない。」とあります。

この本にはコマツの土木機械を筆頭に、優秀な性能やお客様に喜ばれる経済性に優れたシステムなど多くの事例が出てきます。現場管理を効率的にするアイデアもありません。

この本に啓発され一つの文章をつくりました。

「木は育つ。木は優しく、強くたくましい。木材を適切に用いれば、時と共に劣化せず、乾燥して

より強くなる。

電子は流れる。電子は賢く、速く制限がない。

木材と電子の融合は快適で衛生的な空気環境を作り出す。

低炭素で安全安心。
最適住空間と職場空間は木材と共にある。」

まずZoom会議を

そして現場活用へ

パソコンなどを活用してZoom会議や研修、そしてズーム飲み会なども行われるようになりました。離れていても画面を通して顔を見ながら打合せしたり、資料を共有して検討したりと思いの外、有用性があります。グラスは合わせられないものの、皆で乾杯することもできます。コロナ感染の問題はなく、運用に慣れる必要もありませんが、十分なコミュニケーションが取れます。

これらの機能を現場の状況報告に活用すれば、言葉の報告から映像の報告となり、情報量は格段に上がり、建築現場の状況把握と確認など、仕事の精度アップに貢献する事でしょう。こうしたIT活用の得意な業界

人に活用法を指導していただければ、業界の実力も上がり、効率性も大幅に改善します。コロナの時代、今年重要な課題と考えられています。

みやぎ森林・林業未来創造機構

最後に、令和二年十二月十五日に設立された※「みやぎ森林・林業未来創造機構」について記します。翌十六日付けの河北新報十七面に掲載され、村井知事の発言要旨も紹介されています。

木材産業の基礎となる森林林業を、IT技術等を駆使して効率的な事業に導く人材の育成を目的としています。組合も事業に参画し、佐藤専務が幹事に、私が監査役に就任しました。組合として真摯にこの事業に向き合い、微力ながら最善を尽くします。

山元から建築現場まで、私達は大きな変革を求められています。出来る事から学びを深め、小さくても着実に歩を進めてまいります。若手メンバーによるIT技術の業界への導入貢献と全組合員のご健勝、ご発展を心から祈念いたします。

※機構の目的：産業界・行政など多様な主体の連携・協働で林業の就業環境の向上と人材の確保・育成を一体的かつ相乗的に展開する。

事業：就業環境改善と人材の育成確保。みやぎ森林・林業未来創造カレッジ（研修機関）の運営。
会員：森林林業関係団体・行政機関・教育機関等
事務局：宮城県林業技術総合センター

新年のご挨拶



宮城県水産林政部
林業振興課長
中村 彰宏

明けましておめでとうございます。

宮城県木材協同組合員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、本県の森林、林業、木材産業行政の推進につきまして日ごろから格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨春以降の新型コロナウイルス感染拡大により、県内の林業・木材産業等においても事業の継続に大きな影響が生じているものと認識しており、今後とも素材流通等の状況を注視しながら、木材需要の喚起に向け必要な対策を講じてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、森林は、木材生産のみならず、水源のかん養や地球温暖化防止等の公益的機能を有することから、健全で持続性の高い森林を維持していくことは、県民の安全・安心に繋がるものであります。

また、本格的な利用期を迎えた森林資源を基盤として、林業・木材産業が活力あふれる循環型産業へと成長・発展していくことが、SDGs推進の観点からも重要と考えております。

本年三月で東日本大震災発生から九十年となり、新年度からは新たな県政運営の方針である「新・宮城の将来ビジョン」がスタートいたします。林業・木材産業が、将来にわたり持続可能で成長する産業へと発展していくよう、「みやぎ森と緑の県民条例基本計画」に基づく施策を着実に推進するとともに、ICT等の新しい技術の導入による「スマート林業」や、CLT等を活用した新たな木材需要の創出などの取組を一層強化してまいります。

更に、今後本格的な人口減少社会を迎える中、成長産業化を牽引する担い手を育成・確保していくため、産業界、行政、地域で活動する団体などが連携・協働し取り組む母体として、「みやぎ森林・林業未来創造機構」が昨年十二月に設立され、「みやぎ森林・林業未来創造カレッジ」での体系的な人材育成研修を始めることとしております。

県では、これらの取組を通じて、若い世

代が安心して就業でき、働きがいを持つ就業環境を、整備してまいりたいと考えておりますので、貴組合の皆様の御力添えを賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

結びに、未だ日本経済全体が大変厳しい状況ではありますが、宮城県木材協同組合の益々の御発展と、組合員の皆様の事業御繁栄を祈念申し上げ、年頭にあたっての挨拶といたします。

「Wood・もつと・みやぎ」

県産材需要創出事業 **募集中!**
宮城県水産林政部林業振興課



県産木材活用事例(カフェの木質化)

県では、新型コロナウイルス

の影響で、新たなビジネスモデルを模索する飲食店、商店、事業所等への県産材・木製品を活用した木造・木質化等への取組を支援します。

○対象者…民間事業者等

○対象施設…県民の方が利用する店舗・事業所等において、宮城県産材を活用した改築・改装・木製品の配備等を行うもの。

○補助要件…木材使用量の五十パーセント

以上に宮城県産木材を使用すること。
○対象経費…木質化や木製品配備等に要する経費。

○補助金額…補助対象経費の四分の三以内(上限…百五十万円)ただし、一件当たりの事業費が五十万円以上のもの。

○お問合せ先

一般社団法人 宮城県建築士事務所協会

(〇二二・二二三・七三三〇)

宮城県水産林政部 林業振興課

(〇二二・二二一・二九一二)

地域から

「大河原管内の県産材利用の取組」

宮城県大河原地方振興事務所

○仙南地域素材生産・流通連絡会議による

情報共有

当管内の森林面積は105,942haで県全体の26%を占めており、そのうち、民有林のスギ・ヒノキは23,461haで収穫可能な林分は78%となっています。

このように資源が充実していることから当所管内は木材の供給地として期待されているほか、木質バイオマス利活用の動きも拡大方向にあるなど、木材需要拡大につながる要素も見受けられる状況です。このようなか、管内の木材需給情報の共有と意見交換を行い、より安定的な地域材の供給体

制整備を図る目的で、森林組合・民間林業事業体・製材工場等の関係者による情報交換の場として、「仙南地域素材生産・流通連絡会議」を平成29年度から開催しております。

会議にあたっては、事前に各事業体から素材生産や原木使用の実績や計画量を提出してもらい、集計した資料により事務所から説明を行った後、各事業体から実績及び計画の状況説明をいただき、意見交換を行っております。

昨年度の意見交換では、東日本台風による災害の影響が大きいことや原木生産側では地理的条件や買取価格の状況で販売先を決めていること等が報告され、生産・流通の情報相互に共有することができました。

また、県林業振興課からバイオマス関連の情報、県森林組合連合会からは自動選別機の使用等について情報提供いただき、有意義な会議となりました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から当会議の開催を見合わせている状況ですが、データ収集・取りまとめは継続し情報共有や木材利用の拡大を図る予定です。



会議の様子

○木質バイオマス需給ネットワーク形成に向けた支援

当管内では小規模な木質バイオマス利用（発電・熱利用）施設の建設及び計画が複数企業及び地方公共団体で進展しています。今まで利用されず山林内で放置されてきた低質間伐材が、木質バイオマス発電における高付加価値を持った資源であると認識され、供給側（森林組合・林業事業者）との協定締結も進められ供給開始されています。

当事務所においては、前述の「仙南地域素材生産・流通連絡会議」による需給調整支援、補助事業によるバイオマス燃料確保支援、及び木材チップ製造施設の整備支援等を行っております。引き続き、需給間協定による安定的・継続的な需給ネットワークの形成に向けて支援してまいります。

○丸森町復興住宅建設事業への支援

昨年の「令和元年東日本台風」により甚大な被害を受けた丸森町では、災害公営住宅に丸森町産材を活用する計画で検討が進められています。事務所においても町内の具



小規模バイオマス発電施設

有林の活用や、木材等調達体制づくりを支援しているところであり、今後も継続して災害復旧を支援してまいります。

県、仙台市と仮設住宅協定締結

当組合も参画して設立された「宮城県木造急仮設住宅建設協議会」は県及び仙台市との間で木造急仮設住宅の建設に関する協定を締結しました。

1. 協定の名称

「災害時における応急仮設住宅の

建設に関する協定」

2. 協定締結年月日

令和二年九月三十日

3. 協定の目的

これまでの災害では、（一社）プレハブ建築協会との協定に基づく大手プレハブメーカーによる応急仮設住宅の建設を基本としてきましたが、東日本震災時の経験などを踏まえ、県内の木造住宅事業者による円滑な木造応急仮設住宅の建設を可能とし、応急仮設住宅の供給体制を多様化するために、協定を締結しました。

4. 協定団体の概要

名称・

宮城県木造急仮設住宅建設協議会

設立…平成三十年九月二十七日

代表…地域優良住宅 在来工法の会

会長 奥山和典

構成団体…県内の木造住宅関連事業者九団体

（一社）宮城県建築士事務所協会「設計・監理」

（二社）宮城県建築士会「設計・監理」

（二社）宮城県優良住宅協会「施工（建築）」

地域優良住宅「在来工法の会」「施工（建築）」

（二社）宮城県専門工事業団体連合会

「施工（専門工事）」

日本住宅・パネル工業協同組合「施工（内装）」

（二社）宮城県建設業協会「施工（外構等）」

宮城県森林組合連合会「木材供給」

宮城県木材協同組合「木材供給」

建設事業者…各構成団体の会員のうち、協議会が定める要件（東日本震災時の施工実績、資金調達能力など）を満たす事業者が幹旋されます。

供給能力…当面の間、約五十戸

5. 期待される効果

(1) 県内事業者・県産材の活用

県内事業者が県産材を活用しながら建設するため、県内住宅産業及び県産木材市場の活性化並びに県内事業者の技術力の向上等が期待されます。

(2) 県内事業者によるきめ細かな配慮

県内事業者が、平時の事業者間のネットワークや県内での住宅供給の経験を活かして建設するため、柔軟で地域に根差したきめ細かな配慮等が期待されます。

(3)可変性・柔軟性

木造住宅は、段差解消や出入口幅拡大等が比較的容易であり、高齢者等が入居する場合のバリアフリー化への柔軟な対応が可能です。

組合としては、協議会の一員として積極的に会の活動に取り組んでまいります。今後は県内エリアごとの具体的な組織づくりや模擬訓練、研修などが行われますが、木材供給や施工の面で関心のある組合員は、ぜひ参加を検討願います。詳細は組合まで。

『第二十二回みやぎ木造住宅コンクール結果』

県内各地から応募作品が寄せられ厳正な審査の結果次のおり表彰されることになりました。

なお、入賞作品は木造住宅コンクール写真集として発行しております。

施主市町 ・ 施工者 ・ 設計者

最優秀賞 宮城県知事賞

仙台市・(株)サカモト・同一級建築士事務所

優秀賞 宮城県木材同友会会長賞

石巻市・(株)創建築・(有)ササキ設計

施主市町 ・ 施工者 ・ 設計者

優秀賞 宮城県建築士事務所協会会長賞

石巻市・(有)伊藤工設計・同

優良賞 宮城県建設職組合連合会会長賞

川崎町・(株)創建築・同

優良賞 宮城県建築士事務所協会会長賞

松島町・タカハシ木材style(株)

・タカハシ建築工房一級建築士事務所

特別賞

気仙沼市・共栄ハウジング(株)

・(有)ササキ設計

表彰式は、コロナの状況にもよりますが、三月に開催する予定としております。



最優秀賞



期間間近 固定資産税等の減免

中小企業庁では、新型コロナウイルス感染症の影響で事業収入が減少している中小事業者等に対して、固定資産税等の減免を行う特例制度を創設しています。

1 特例の対象者

令和二年二月から十月までの任意の連続する三カ月間の事業収入が、前年の同期間事業収入と比べて、三十%以上減少している中小事業者等であること。

2 特例の内容

令和三年度の一年度分に限り、事業用家屋及び償却資産に係る固定資産税及び都市計画税の課税標準額を、収入減少額が五十%以上の場合はゼロ、三十%以上五十%未満は二分の一とするもの。

3 申請書・申請期間

申告書様式は、対象設備の所在する各地方自治体が定める申告書様式。提出先のホームページ等を確認のこと。

市町村による申請受付は一月末まで。

4 問い合わせ先等

詳しくは中小企業庁のホームページを参照。問い合わせ先電話番号

0570-077-322 または 03-4335-4543

令和一年度 林業施設整備等

利子助成事業 募集中

全国木材協同組合連合会では、新型コロナウイルス感染症の影響により、経営の維持安定が困難な林業者（林業、素材生産業）が経営の維持安定に必要な資金を(株)日本政策金融公庫から借り入れる場合、又は

経営の維持安定に必要な借換資金を民間金融機関から借り入れる場合の利子を助成する林野庁補助事業を、当組合を窓口として募集中です。

公庫の農林漁業セーフティネット資金等を利用した方で、助成申請がまだの方は早めに組合まで相談ください。今年度の締め切りは二月十日となっております。

公庫の貸付制度や林野庁の利子助成事業は今後も継続が見込まれますので、新たな借り入れや借換を検討している林業者の組合員の方はお気軽に公庫や組合まで相談ください。

令和二年度第三次補正予算 概要

補正予算が閣議決定され、次期国会で今月末には成立見込みです。林野庁の木材関係予算では、昨年度の補正予算及び今年度の当初予算、補正予算と同様の「JAS構造材の普及・実証」「CLT建築等の実証や木質建築部材の技術開発等」「外構部への木材の実証的利用の推進」が含まれています。

個別の予算額は予算成立後に明らかにする予定ですが、今年度並み以上と期待されます。詳細は、事業内容、スケジュール等が決まってからお知らせいたしますが、事業検討の組合員の皆様には事業申請のタイミングを逸しませんよう、留意願います。

組合のホームページ リニューアル
先月にホームページをリニューアルしました。より、見やすく、運用しやすい形となりました。昨年秋にTV放映したCM動画もあります。
「宮城県木協」で検索してみてください。

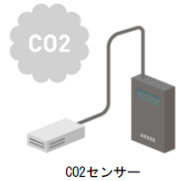
木材統計調査基礎調査への協力お願い
農林水産省統計部が毎年行っている調査が、今月から、抽出された事業者を対象に行われます。木材の生産、出荷の実態を把握し、木材関連施策立案の重要な基礎資料となりますので、該当された方はお忙しいところ恐縮ですが、ご協力願います。

素材生産業者の皆様へ
— 森林保険の加入を —
立木販売で購入した森林が、被災してしまつたら・・・。森林保険に加入していれば、保険金で損失を補えます。
対象となる災害は、火災、風害、水害、雪害、干害、凍害、潮害、噴火災の八つ。

契約は立木購入後、搬出期限まで一年単位。保険金額は標準金額を上限に、予算に合わせて任意に設定。保険料は、六年生以上の針葉樹一年間、保険金額百五十万円では、保険料四千八百三十円。詳しくは最寄りの森林組合まで。

寒冷な場面における新型コロナ感染防止等のポイント

『5つの場面』
場面1：飲酒を伴う懇親会
場面2：大人数や長時間におよぶ飲食
場面3：マスクなしでの会話
場面4：狭い空間での共同生活
場面5：居場所の切り替わり



- 基本的な感染防止対策の実施
 - マスクを着用 (ウイルスを移さない)
 - 人と人の距離を確保 (1mを目安に)
 - 「5つの場面」「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を参考に
 - 3密を避ける、大声を出さない
- 寒い環境でも換気の実施
 - 機械換気による常時換気を (強制的に換気を行うもので2003年7月以降は住宅にも設置。)
 - 機械換気が設置されていない場合は、室温が下がらない範囲で **常時窓開け** (窓を少し開け、室温は18℃以上を目安!)
また、連続した部屋等を用いた2段階の換気やHEPAフィルター付きの空気清浄機の使用も考えられる (例：使用していない部屋の窓を大きく開ける)
 - 飲食店等で可能な場合は、CO2センサーを設置し、二酸化炭素濃度をモニターし、適切な換気により1000ppm以下(*)を維持
*機械換気の場合。窓開け換気の場合は目安。
- 適度な保湿 (湿度40%以上を目安)
 - 換気しながら加湿を (加湿器使用や洗濯物の室内干し)
 - こまめな拭き掃除を

ワクチンの語源は牛痘から、ラテン語の雌牛の意味だそう。今年(2021年)は牛痘から、ラテン語の雌牛(カウ)が主役。今年(2021年)は牛痘から、ラテン語の雌牛(カウ)が主役。今年(2021年)は牛痘から、ラテン語の雌牛(カウ)が主役。今年(2021年)は牛痘から、ラテン語の雌牛(カウ)が主役。